

名大から北大と熊大へ通信衛星で手術を中継 教育効果期待

名古屋市昭和区の名古屋大学病院で9日午前10時から行われた女性の肝臓病患者の手術の様子が、通信衛星を介して北海道大学病院と熊本大学病院に設けられたテレビに映し出された。執刀したのは名古屋大医学部の二村雄次助教授（第1外科）。

手術の映像は、日本サテライト映像会社（本社・東京都港区北青山伊藤忠ビル内）の移動中継車から通信衛星に送られ、衛星から北海道と九州に送信された。北大と手術室は地上回線を通して対話も行われた。このような生中継が一般化すると、手術中に術者と遠くにいる専門家との間で、方法論などを討論できる。また、ビデオのような一方通行ではなく、質問などもできるので、医学教育に役立つと期待されている。

同様の試みとしては、東京大学医学部眼科教室と武蔵野赤十字病院（東京都武蔵野市）が眼科手術の様子を3月25日、東京都千代田区の科学技術館へ生中継したことがある。